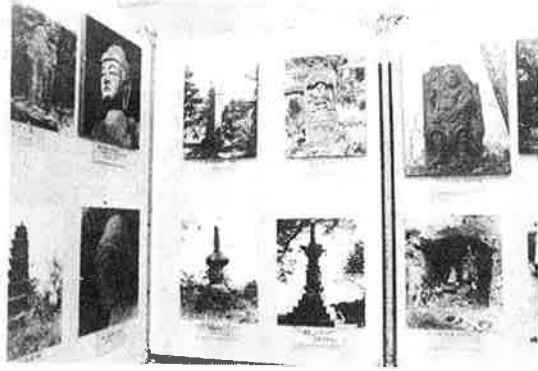


史談会主催

## 軸丸勇氏文化財写真展覧会

十一月四日—六日 三日間



史談会は、佐伯市文化祭行事に協賛して、標記のような展覧会を文化会館特別室で催した。

軸丸氏が各地を回り、写し焼きつけ引延した、

畳一枚大の弥生町磨崖塔（県指定）、姫路城（国宝）の二枚の写真をはじめ、全紙倍大の写真三十六枚、全紙大六〇余枚合計百枚余の佐伯市・南郡の主要文化財をはじめ、九州・中国地方の重要文化財の写真が所せましと展示され壮観であった。

これ程の写真をパネルはりまで一人で成しとげた軸丸

氏の苦勞は、大変なものであったと思われる。

文化財や写真に関心を持つ人々の説明に係員は忙しかつた。「写真をとつてもよいでしょうか。」という人達には心よくとつて貰った。人々は「よくもこれだけのものを揃えたものですな!。」と感嘆した。中には「これ程のものを、もっと人の集まる寿屋でもすればよいのに!。」と言って下さる人もあった。有難いご意見である。

私達もここで催す毎に感ずるのであるが、会場が狭くゆつたりした展示ができない。今回の場合は特にそうであった。所狭しと展示しなければならなかった。

反省会で、後始末の手伝いに来られていた軸丸家の皆さんから、精神的な応援の次策を伺い、一丸となってこの写真展に取り組んで下さった姿に、一同は大きな感銘を受けた。